

浦安とみおか川柳会

九月例会結果

日時： 令和4年9月12日(火)
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、
 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

講師： 佐藤青樹

点数
 講師
 推奨
 課題「シンプル」互選
 講評*佐藤青樹

8 肩書を脱いで素顔の心地よさ
 責任の受圧感から解放された気持ちを読み取れる句
 ひかる

ふんわりと飾らぬ母の塩むすび
 お母さんの家族へのおもいやり、お結びの上手さと旨さ
 裕子

6 スツピンで生きると決めた老いの日日
 老女の悟りと覚悟が見え、面白くできました
 裕子

しがらみを絶てば気ままに生きられる
 説明句のようでは
 和昭

5 一輪の花が迎える茶の湯席
 説明句のようでは余韻が少々感じられないのでは
 裕子

梅干とおかゆが至福病み上がり
 この句も説明句のようですね
 みちえ

4 礼状にありがとうのみ気持ち込め
 参考：病み上がり妻のおかゆが身に沁みる
 智

3 子の巣立ち妻も一緒に出て行った
 奥様はお子さんと一緒に暮らすのでしょうか
 順

シンプルな名言にある深い意味
 参考：子が巣立ち妻から届く雛縁状
 勝

侘びと寂び簡素の中の美しさ
 参考：シンプルな名言をれど真似できず
 勝

参考：知った振り聞けば分からぬ侘びと寂び

2 一輪挿し目立たぬように胸を張る
 この句も説明句のようでは余韻が少々感じられないのでは
 和昭

思うまま生きる楽しさ一人故
 参考：一輪挿し落けて庵主が胸を張り
 しだれ

下五の「一人故」が説明のようになっていませんか
 参考：気楽さが独り暮らしを捨てさせず
 和昭

1 かつと燃えはじけて終わる夏の恋
 絵が見え、一読明快の句
 和昭

時と金自由に使う面白さ
 時と金を自由に使うことが面白くかつ、シンプルな
 しだれ

シンプルで道楽へ家と歳を食いつぶし
 参考：道楽へ家と歳を食いつぶし
 順

シンプルで年金暮らしを強いてくる
 参考：年金がけちを暮らしを強いてくる
 順

シンプルで御洒落美人を際立てる
 一読明快の句ですが、リズム感を勘案し
 みちえ

エゴ捨てて無駄も省いてエコロジー
 参考：さりげないお洒落が美女を際立てる
 ひかる

一読明快の句ですが、標語のようでは取られないでしょうか
 参考：エゴと無駄捨ててと妻のエコロジー
 勝

単機能使い易くて丈夫です
 この句も説明句のようになっていませんか
 勝

機能過多スマホ操り目を回す
 参考：使い好み亭主丈夫で単機能
 智

シンプルじゃないスマホに単純に目を回したのでしょうか

没句

互選句 (シンプル)

- シンプルに生きて人生恙無い
- 平凡と白いTシャツあればいい
- 祭りばやし聞くと体が宙に浮き
- スキンヘッド理髪代金浮かせとる
- 切れ長の古風な一重情緒あり

一人選句 (切ない)

- コロナかな即検査切ないぞ
- かぜひけば切ない思い歌う止め
- 雨音も最早母には細すぎて
- くちなしの白く咲いても開かぬ実
- よろよろの飼主引いて犬散歩
- 小麦不足収穫しても出荷無く
- 献金し破産殺人切ないな
- コロナ禍で帰省できず思いよせ
- 余生の命の重み誰に問う

自由句

- 合理化の大事さ急所保護対峙
- 名月に虫の音聴いて夕涼み
- 感染者一先ず今日をチェックする
- 娘とデート花丸つけたカレンダー
- 検診へテンポは良いと聴診器
- ボランティアするもされるも頑固者
- この夏は貯金貯筋の二刀流
- 恙無い今日もジグソー確と埋め
- 駅弁のおかず変更ニュース種
- 左折するクチナシ香るバス換気
- 写真撮り受け入れ難い今の僕
- 40代いまだに続く反抗期
- 吹く前の風に出逢った明け散歩
- ユーモアを卒寿見習う笑い生き

考察する

- 1 常識にとらわれるな 川柳に向かうときだけは
思考回路から「常識の枠」を外さないと、意表をついた
表現や見解を生み出すことは出来ません
- 2 自分は何者なのか 観察ではなく頭の中で考える
・採食のわたしに合っている土葬
・大人にはならないように脱皮する
・角とれて八角くらいにはなれた
- 3 にんげんというものは「にんげん」を川柳の眼で
分析し、川柳で定義付けすることもできる
・人間も最初は裸だったのに
・ロボットを猿に分化するヒト科
・全員が卵の殻でできている
- 4 神や仏とは？ 不可知なことがあっても、考察する
ことは自由であり、独自の見解を作品にするのも自由
・音沙汰のない神さまを待つベッド
・地球から失踪をした神仏
・同じでも無駄でも僕は祈ります
- 5 おかしな物たち 無用と思われる物や毎日使用して
いる物など、周囲のすべての物は考察の対象になる
・吊り橋は黙って落ちることがある
・ゴミになるために生まれた紙コップ
・便座まで温めてくれる良い電気
- 6 謎だらけの自然
・大水河ゆるむわたしのうたたねに
・ちょうどよい角度保っている地球
・地中にも世界があつて根がのびる
- 7 不思議な生き物たち
・嫌われる理由蜘蛛には判らない
・異議ありと言えないままの冷凍魚
・知恵の輪を猿もカラスもすぐに解く
- 8 考察を高める 考察できる範囲やその深さは経験
知識によって異なります。努力によって器を大きく
することはできません。常に知的な刺激を受けるように
意識していきますと、考察の幅も広がり、自らの作句に
役立つばかりか他の人の句も深く理解できるように
なります

大賞 米島暁子

ふる里の風が私を毬にする

準賞 吉田貞恵

消しゴムの汚れわたしの曖昧さ

新人賞 関根夢子

ふんわりと浮かんでいると生きやすい

佳作

三日月に引つかかかっている嫉妬心 河原田美奈
風邪を引くようにあなたを好きになる今村ひさし
受け入れてしまえば古いもこんなもの今別府文乃
人間が好きで褒めたり叱ったり 米島暁子

五点

雨二モ負ケル風二モ負ツケルデモ笑ウ村上たけし
財政の再建という泥の舟 佐藤昇平
生きるのが仕事になっていく余命 福田岩男
特高になるな防犯用カメラ 羽生田はる

四点

幸せに浸っていても出る不満 磯崎ひろ子
顔洗う指の先から春になる 丸尾純子
みかんむく親子は別のこと思う 土井利一
一言の悔いを引きずる不感症 伊藤良江
おしゃべりな妻を無口にする鏡 松原松代
生きざまに少し足りない唐辛子 佐藤公江
秋の日の音なく暮れてひとり酒 池下富裕
その度に飛び越えてきた水溜まり 宮内みのり
返納へ心が揺れる免許証 高山達郎
子育てに詫びたいことがたとある 吉富テイ子
気がつけば切札だけが手に残り 津田と志子
不器用な真心がまた傷を負う 吉田君代
分岐点あの日あの時あの言葉 成島静枝

互選句 課題「能天気」

令和四年 十月例会

浦安とみおか川柳会

18	天国へ行けるなら壺買ってみる
17	献金が神に届くと信じきる
16	年金で何とかなるさ旅の空
15	効くというサプリ集めて舌づつみ
14	接種詐欺医者が行うお気楽さ
13	周りみな心配性にした気楽
12	火の車妻に任せて趣味多彩
11	見られてもカーテン閉めず花がいる
10	僕唱う常識外れ百寿夢
9	とりあえず雨戸を開けてひと寝入り
8	借りた傘車中に忘れ弁償に
7	傘寿過ぎ大器晩成まだ信じ
6	借金で海外支援している国
5	九条が国を守るといふ弛緩
4	明日までに作句するとは能天気
3	ややこしい事は嫌いな軽い脳
2	俄雨干した布団が見捨てられ
1	晩年を快走中の能天気
36	
35	
34	
33	
32	
31	
30	ノホホンと生きて毎日パラダイス
29	浦安好き常識外れ米寿良い
28	通帳にストップされるキャッシュレス
27	宝くじ神棚置いて期限切れ
26	家計簿を見せない妻に伸ばす羽
25	宝くじ買って住宅展示場
24	悩み事ないから腹があくびする
23	泣きじゃくる子を引いたまま立ち話
22	くち車のつて買いだめ不要品
21	あれこれと指図したがる亭主の座
20	赤字でもお誘いあればランチ行く
19	親友は常識外れ百寿夢